

年長だより

暖かい気候が続いていましたが、急に朝晩冷えるようになってきました。子どもたちも「先生おはよう！今日は幼稚園に来るまですごく寒かったよ」と季節の変化を感じながら、園庭や中道公園で元気に体を動かして遊んでいます。

【当たっちゃうよ！こっちこっち！】

園庭や中道公園でドッジボールを始めました。初めは「ルールが分かんない」「当たるのちょっと怖いな」と言っていた子がたくさんいました。教師は、ドッジボールが初めての子たちは少人数でやってみたり、クラスみんなでルールの確認をしてからドッジボールをしたりしてきました。そのうちに、ルールを分かって動けるようになっていたり、捕る・投げるだけではなく逃げる楽しさを感じたりして、ドッジボールに自分から参加する子が増えてきました。

先日、教員の研修で来ていただいた関尾先生にドッジボールのポイントを教えてもらおうと、「こうやって手を広げておいたら、ボール捕れたよ！」「ボールから近いと当たっちゃうよ！こっちこっち！」と自分でやってみようとしたり、友達同士で教え合ったりする姿が見られました。また、何度も楽しむうちに、子どもたちは「〇〇ちゃん避け名人だね」と友達のいいところを見つけて伝えたり、「頭と顔は当たってもセーフだよ」「今のは色チームのボールだよ」とルールを確認し合ったりしながら遊ぶようになってきました。

これからもドッジボールで遊ぶ中で、「こっちにパスして」などとチームで作戦を考え勝ち負けの喜びや悔しさを味わったり、自分たちでより楽しめるようなルールをつくったりする経験をしてほしいと思っています。また、思い切り投げて当てたりボールを捕ったりするうれしさや、ドキドキワクワクするスリルを十分に味わいながら、友達と一緒に思い切り体を動かす楽しさを味わうことができるようにしたいと思っています。

ボールから遠いところに
逃げよう



よく見てねらって・・・

【遊園地ごっこ、楽しかったね】

10月に動物園に出かけたとき、「遊園地、今日は行けないんだよね」「じゃあ、幼稚園でやればいいんじゃない？」という子どもの言葉をきっかけに、遊園地ごっこをすることになりました。みんなの大好きな遊園地、たくさんのアトラクションがあることを知っている子どもたちは「私たちだけでできるかなあ…」「あ、そうだ、つき組ほし組みんなでできたらいいよね」と隣のクラスに相談しに行く姿がありました。各クラス、したいアトラクションを出し合い、自分の作ってみたいアトラクションのグループに分かれ、必要なものを作ったり、係分担を考えたりしました。



「上には、傘みたいな形のがついてるんだよね」などと互いのイメージを出して絵に表す姿がありました。本物の傘を使い、自分たちのイメージにぴったりのものが出来上がり、満足感を味わっていました。自分たちの知っている遊園地のように作るにはどうしたらよいか、材料や作り方を友達と一緒に考えていました。

1日目が終わった後、「僕の係大変だった…」というA児の言葉から、係分担を考え直し、2日目には「疲れてる？変わろうか？」と声を掛け合う姿が見られました。友達同士声を掛け合いながら遊びを進めています。



「ゴールまでついていくね」と手をつないで連れて行ったり、「こういうふうにかすんだよ」とお客さんの小さい組に優しく声を掛ける姿が見られました。年長組としての自覚が出てきているなど感じます。



本物の遊園地らしく、「出発進行！」「安全レバーを持ってください」などのセリフを言う姿が見られました。小さい組に楽しんでもらうのはもちろん、なりきって動くことや、自分たちもお客さんになることも楽しみました！



遊園地ごっこを学年で楽しむ中で、年下の子に優しく接するなど思いやりのある関わりをする姿が見られるようになってきました。また、自分の思いついたことを話したり、友達の話していることをよく聞いたりして、友達と思いを伝え合いながら遊びを進めていくようになってきました。これからも、友達同士でイメージや考えを伝え合いながら遊びを進める楽しさを味わえるように、教師も仲間になって思いが伝え合えるようにしたり、時には見守ったりしながら支えていきたいと思えます。